

---

---

# コロナ禍以前の試みとコロナ禍での ICT を利用した授業実践

— 高校3年「公民特講」と中学3年「政治経済」での実践 —

小西 聡

---

---

## はじめに

教育現場において ICT の活用が言われるようになり、教科指導の中で ICT を活用することにより、子供たちの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業を実現することが言われている<sup>1</sup>。筆者が勤務する成城学園中学校高等学校においても、生徒へ iPad が貸与され始めてから、4年目となる（全校生徒に貸与されてからは2年目）。ただ、貸与されている iPad を使用する機会は少なく、筆者の授業で生徒に使わせる場面というのは皆無であった。授業で取り入れることに慎重であった理由として、授業管理が難しくなるのではという不安感が強かったことがある。ただ、ICT を活用することで、より質の高い、より生徒が積極的・主体的に取り組むことができる授業ができるのであろうということは漠然と思っていた。そこで、少人数の選択授業であれば、授業管理の問題もなく活用できるのではと思い、2019年度の高校3年生の選択科目「公民特講」で試行的に ICT を活用した授業を実践した。

その試行を経て迎えた2020年度、新型コロナウイルスの影響により年度当初から休校となった。そして、4月の第3週（4月13日以降）より、生徒が自宅で取り組むことができるような課題などを配信するということになった。この休校期間において、ICT の活用が進んだ。また、休校期間を終えた後も ICT の活用を止めないように、できる範囲で活用できるように試みた。ここでは、2019年度の高校3年「公民特講」での実践と2020年度の中学3年「政治経済」での実践を記したい。

## 1. コロナ禍以前の試み —— 2019年度 高校3年「公民特講」での授業

### (1) 授業の内容

ICT を活用した授業を試みるにあたり、先述した懸念点があることから、少人数の授業かつ授業内容に自由度があるもので試行してみたいと考えていた。そのことから、昨年度（2019年度）の高校3年生「公民特講」の2学期の授業にて試行的に実践した。

「公民特講」は、高校3年生 A コース（成城大学内部進学を中心としたコース）の在籍生徒を対象とした選択科目で、現代社会や政治経済の授業では扱えなかった内容を扱う授業である。ただ、具体的な授業内容は、その年度の授業担当者に委ねられている部分が多い。なお、2019度については、火曜日の5・6時間目

に行われ、15名の生徒が受講をした。

公民特講は、週に1度2時間連続で行われるため、次のように授業を展開した。

#### 【授業前】

- ① 毎回、設定されたテーマに基づき（**資料1**を参照）、賛成派と反対派からの意見を述べる生徒を各1名あらかじめ決めておく。
- ② 担当の生徒は、自身が担当する立場からの意見や根拠を発表するための準備（スライドの作成など）を行う。

#### 【5時間目の授業】

- ① 授業担当教員（筆者）が、その週のテーマの概説的な内容を講義形式で授業する。
- ② 授業支援ソフト「ロイロノート・スクール」を通じてスライドや講義資料を送り、生徒は自身のiPadを通じて資料を手元で見ながら授業を受ける。

#### 【6時間目の授業】

- ① 「ロイロノート・スクール」を用いて、受講している全生徒がそのテーマについて賛成か反対かについて理由をつけて教員へ送信する。
- ② 全員の意見と理由を、プロジェクターを通じてホワイトボードに投影し、賛成・反対の理由の中から気になるものを筆者が数名指名し、補足説明をしてもらう。
- ③ 担当の生徒（賛成・反対の各1名）がそれぞれの立場からスライドを用いて発表。
- ④ 他の生徒からの質疑応答（生徒には毎回1回以上の発言を義務付けている。）
- ⑤ 発表や質疑応答を踏まえて、賛成・反対とその理由等をコメントシートに記入して提出。

**資料1** 授業でのテーマ（各テーマにつき賛成・反対を1人ずつ発表）

① 9月18日	日本は「死刑」を廃止した方がよい。
② 9月25日	日本国憲法第9条は、改正した方がよい。
10月1日	（校内大会のため、授業なし。）
③ 10月8日	日本でも「安楽死」を法的に認めた方がよい。
④ 10月15日	成人年齢を「18歳」に引き下げた方がよい。
10月22日	（2学期中間テストのため、授業なし。）
⑤ 10月29日	犯罪をした未成年者も実名報道をした方がよい。
11月5日	（文化祭代休のため、授業なし。）
⑥ 11月12日	世界平和のために、核兵器は必要である。
⑦ 11月19日	コンビニは24時間営業をやめた方がよい。
11月26日	（金曜日の時間割に変更のため、授業なし。）
⑧ 12月3日	日本は「裁判員制度」を廃止した方がよい。

※ 生徒15名+筆者の計16名が1回ずつ発表を担当した。

## (2) 実践のまとめ

1学期は講義スタイルの授業を行っていたこともあり、2学期から授業形態が大きく変わり、生徒たちは最初戸惑いがあったようである。ただ、3週間ほど経つと慣れてきたようで、スムーズに授業も進み、生徒からの質問や発言が増えてきた。また、質疑応答では必ず質問をしなければいけないということもあり、生徒たちからも受け身の形ではなく自ら考えながら話を聞く姿勢を育むことができた。

生徒からも教師側の説明を一方的に聞くよりも自ら考えて発言するということが楽しいという声があり、答えがないことを考えるということが「やらされている」という義務感ではない部分もあり、楽しいという感じがあったようである。

教員側としても、ロイロノート・スクールでは生徒側の画面もコントロールできるということもあり、勝手なことをするのはといった余計な心配をすることなく進められたという点ではよかった。

## 2. 新型コロナによる休校期間 —— 2020年度 中学3年「政治経済」での映像授業

### (1) コロナ禍による休校の始まり

冒頭にも記したように、4月の第3週より生徒が自宅で学習を進めるための配信をすることとなった。ただ、この時点では生徒に教科書を郵送で送り始めたところで教科書を手元に持っていない生徒もいる状況であった。また、教員側も休校期間がどの程度になるのかという予想すら立たず、さらに、休校に向けた準備が間に合っておらず、休校期間の授業に関する教員間の情報共有が不足しているという状況でもあった。そのため、4月の第3週については教科書の内容に即した課題プリントとそのプリントに取り組むために必要な教科書2ページ分をPDFファイルにして Google Classroom で配信した。そして、生徒はそのプリントの解答を授業用のノートに記すという形にして課題に取り組むことにした。ただ、政治経済（中学校社会科の公民的分野）の内容を本格的に学ぶのが中学3年生になって初めてのことであり、科目の内容に対するイメージを生徒が何も持たないまま課題に取り組むことになってしまうことが問題であった。そこで、政治経済とはどのようなことを学ぶのかという前置きをプリントに書くことで、その解消に努めた（[資料2](#)を参照）。

資料2 課題プリントの前置きとして付け加えたプリント。

<p><b>中学3年「政治経済」 自宅学習課題①</b></p> <p><b>はじめに</b></p> <p>中学3年になり、「政治経済」という科目が初めて登場します。科目名からして、「政治」とか「経済」のことをやるんでしょ？と思うでしょうし、実際、その通りです。では、「政治のこと」「経済のこと」って、具体的にどんなことなのでしょう？</p> <p>いきなりですが、「あべ しんぞう」という人が、毎日のようにニュースで登場しています。</p> <p>① 「あべ しんぞう」さんを漢字で書きますか？</p> <p>② 「あべ しんぞう」さんの仕事は何ですか？</p> <p>この2つの問題、答えられましたか？答えですが、</p> <p>① 「あべ しんぞう」さんは、漢字では「安倍 晋三」と書きます。テストで出してもよく間違えます。高校生でも、よく間違えます。</p> <p>② 安倍晋三さんの仕事ですが、一言でいえば「政治家」なんですけど、もう少し細かく書くと、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本の内閣総理大臣（首相）</li> <li>2) 国会議員（中でも、安倍さんは「衆議院の議員」です。）</li> <li>3) 自由民主党（自民党）の総裁</li> </ol> <p>の3つの立場を兼任しています。</p> <p>では、総理大臣って何をやる人なのでしょう？国会や衆議院って何でしょう？自民党などの「○○党」って何の集団なのでしょう？このようなことを学ぶ（これ以外にも学ぶことはありますが）のが「政治のこと」に当たる部分です。</p>	<p>次の話ですが、みなさんはコンビニなどで日々お買い物をすると思います。（今は、必要もないのに外出はしないでくださいね。）</p> <p>① 日本で最も店舗数の多い、コンビニチェーン店はどこか知っていますか？</p> <p>② 買い物をするためには、お金が必要です。ところで、紙幣の正式名称を知っていますか？（実は、紙幣にはちゃんと書かれています。）</p> <p>この2つの問題、わかりましたか？</p> <p>① 2020年1月30日時点ですが、一番多いのは「セブンイレブン」です。ちなみに、2位がファミリーマート、3位がローソン です。</p> <p>② 1000円札とかの紙幣ですが、正式には「日本銀行券」といいます。ちゃんと紙幣にも書かれていますので、確認してみてください。</p> <p>さて、セブンイレブンやファミリーマート、ローソンというのは全て「株式会社」です。では、株式会社って何でしょう？そもそも、株って何でしょう？なかなか答えられないと思います。あと、紙幣の正式名称は「日本銀行券」と先程書きましたが、日本銀行って何？そもそも、銀行って何をしているの？という問いに答えられますか？これらの問いに答えられるようになるのが、「経済こと」という学びになります。</p> <p>授業が始まる前にも関わらず、こんなことを書くのもなんですが、この科目を勉強する中で、理解しづらいところもあります。小難しいなぁと思うことも出てくると思います。でも、みなさんの生活にとっても関わりのあることを扱う科目です。1年間、頑張ってください。ちなみに、今年度の中学3年の「政治経済」は、川住、楡川、森下、小西（高校）の4名の先生で担当をします。よろしくお願いします。</p> <p>では、次のページからが課題になります。ノートを準備し、教科書（「公民」と書かれているもの）を見ながら頑張って取り組んでください。</p>
--	---

## (2) 動画授業の配信

4月の第4週となる4月20日（月）より動画配信を行なった。Power Pointでスライドを作成し、そこに音声を吹き込み作成した動画をYouTubeに限定公開という形でアップロードし、生徒にはそのURLを伝えて見られるようにした。また、動画のURLとともに「事前学習課題」として教科書の該当ページや事前に目を通してほしい資料をPDFファイルで送信し、事前学習課題に目を通して、授業動画を見るという流れにした。

また、教師側にとっても初めてではあるが、生徒側にとってもこのような授業形態は初めてになるので、できる限り取り組みやすいようにシンプルな形を目指した。そこで、必要なものは教科書とノート、学校から貸与されているiPadで十分なように配慮し、プリントアウト等が必要ないようにした。具体的には、動画の中に板書を示し、その部分で動画を静止させて、ノートに写す。必要な配付プリントはPDFファイルで送り、登校再開後に全員に紙で配付するというようにすることで、通常授業で用意すべきものだけで完結するようにした。

配信の頻度については、動画の配信を始めた当初は、本来であれば毎日学校に通って学習をしているということから、原則的に毎日（平日）1本ずつURLを配信していた（翌日が祝日の時は、まとめて2本配信）。しかし、自粛生活の長期化と課題が配信されるたびに通知される連絡の多さから生徒に相当なストレスがかかっていることがわかったため、ゴールデンウィーク明けからは、1回あたり2～3本のURLを週に2回配信するようにするなど配慮をするようになった。

資料3 配信動画のタイトルと配信日

動画のタイトル	配 信 日
〔00〕 授業を始めるにあたって	4月20日
〔01〕 昔、市民は大変だった	4月21日
〔02〕 立憲主義とは	4月22日
〔03〕 憲法に必要なもの	4月23日
〔04〕 法の構成	4月24日
〔05〕 日本国憲法の誕生	4月27日
〔06〕 日本国憲法の3つの原理	4月28日
〔07〕 日本国憲法を変える方法	
〔08〕 国民が政治の主人公	4月30日
〔09〕 「天皇」って・・・？	5月1日
〔10〕 基本的人権の性質	5月11日
〔11〕 基本的人権の分類	
〔12〕 平等権	5月14日
〔13〕 精神活動の自由①	5月18日
〔14〕 精神活動の自由②	
〔15〕 生命・身体の自由①	5月21日
〔16〕 生命・身体の自由②	
〔17〕 経済活動の自由	
〔18〕 社会権①（生存権）	5月25日
〔19〕 社会権②（教育を受ける権利）	
〔20〕 社会権③（労働者の権利）	5月28日
〔21〕 提出課題の解説	
〔22〕 基本的人権を守るために①（参政権）	6月1日
〔23〕 基本的人権を守るために②（請求権）	
〔24〕 新しい人権①	6月4日
〔25〕 新しい人権②	

### （3）休校期間中の提出課題

休校期間中、中学3年の政治経済では2つの提出課題を課した。1つは、ゴールデンウィークまでに配信した分の授業ノートをiPadにて撮影し、その写真データをGoogle Classroomへ送信するというものである。目的は、どの程度きちんと動画授業に取り組んでいるのかということを教員側が確かめることであり、提出

の有無やノートの出来・不出来に関わらず評価対象とはしなかった。各クラス2～3名程度未提出の生徒がいたものの、ほとんどの生徒が提出し、ノートの出来としても問題のないものばかりであった。中には何度も動画を見て私の話している内容をしっかりとメモしているノートや板書部分以外で映されている図などもノートに書いている生徒も散見された。

もう1つは、平等権の内容を終えたところで憲法上求められる平等とはどのようなものかを考える課題を課した。具体的には、6つの架空の事例（[資料4](#)を参照）を用いて、その区別や特別扱いは許されるものかどうかを、理由とともに考えるものである。狙いは、「あってよい違い」と「あってはいけない違い」に気づくことである。

この課題については、Google フォームを通じて回答を送信してもらい、生徒からの回答を集計して解説動画を後日アップロードするというで補足をした。Google フォームを用いることにより、このような遠隔授業の状態でもスムーズに生徒からの回答を回収することができ、教師の側からしても生徒からの回答を集計する手間が大きく省くことができた。そのため、この課題の解説動画作成も早く着手することができ、生徒への早いフィードバックへとつながったように思う。

**資料4** 平等権の提出課題に書かれた6つのケース

ケース A	学校で生徒と担任の先生が1人10分で面談をするところを、Aくんだけ外国人で日本語が苦手であるということから、20分面談を行なった。
ケース B	有名なプロスポーツ選手は年収5億円を超えているにも関わらず、Bさんの年収は200万円しかない。
ケース C	C電鉄では、朝と夕方の混雑する時間帯に「女性専用車両」を1両設けて、女性しか乗ることができないところを作っている。
ケース D	D市の市営図書館では、毎週水曜日を「レディース・デー」として、女性だけが利用できるようにしている。
ケース E	E県の県庁で働く職員には、E県の出身者しか採用していない。
ケース F	株式会社Fでは、能力や実績に関係なく、女性よりも男性社員の方が偉くなるのも早く、給料も男性社員の方が高い。一方、女性社員は能力や実績があっても偉くなることもなければ、給料が高くなることもない。

### 3. 登校再開後の授業①（1学期） —— 授業前の予習動画

6月から登校が再開され、半数登校という形で対面授業が始まった。その後、全員登校という形になり、通常授業が戻りつつあった。ここで、今まで通りの授業方法に戻すことも考えたが、休校期間の中で活用されるようになったICTの活用方法はないものかと考えていた。中学3年の政治経済については、本来1学期の中間テスト（例年5月下旬に実施）までに終える予定の授業内容を5月末までの休校期間で行なった。そのため、授業進度が予定より遅れていることになる。その遅れを取り戻すという意味を込めてICTを活

用することを考えた。また、コロナ禍が続いている状況で、登校に不安を抱えている生徒や家庭もいることが想定され、登校不安を抱えている生徒にも最低限の内容を学ぶことができる環境を整える必要があるとも考えた。

そこで1学期については、扱う単元の基本的な内容の部分を予習用プリントとしてまとめ、生徒へ事前に配付をし、予習動画を配信して学習を進めてもらう。その後、対面授業ではその内容の補足や予習動画では扱っていない部分の内容を各クラスの授業担当者が扱うという方法で進めた。

結果、動画の再生回数（延べ数）は、在籍者数の半分程度であり、授業前にとりあえずプリントだけ完成させているという生徒もそれなりにいた。ただ、期末テスト前になると再生回数が増え、在籍者数程度の数が再生されるようになった。テスト前に復習やテスト対策のために動画を見た生徒が増えたものと思われる。授業前に予習という形で動画を見せる形にしても、教師側が期待したほど動画を見ておらず、事前学習としての予習の効果は薄かったように思う。一方で、この時の動画配信については、復習のしやすさという部分についてあまり意識をしてこなかったが、生徒からすると復習のために大いに役立ったのではないかと考える。また、予習動画を実践するのであれば、授業の最初の時間を使って全員に見せて、その場でプリント等を完成させてから対面授業を迎えるという形式が良かったのかもしれない。ただ、この形式の場合は予習というより全クラス共通で単元の基本的な事項をまとめた動画見て、単元全体のイメージや基本的な事項を短時間でつかむということが主眼になるであろう。

資料5 予習プリントの例

### 6. 内閣

<6-1：内閣と国会の関係>（※ 詳しくは、授業の中で。）

(1) 内閣とは？

⇒ 「〔 〕は〔 〕に属する」（憲法65条）

↳ 国会が決めた法律や予算に基づいて、仕事をおこなう権限。

⇒ 内閣 = 〔 〕 + 〔 〕

(2) 日本の国会と内閣の関係

⇒ 内閣は、〔 〕の信任に基づいて存在する。

〔 〕は〔 〕に対して〔 〕して〔 〕を負う。

= 〔 〕

<議院内閣制のしくみ>

国 会	〔 〕の提出（衆議院のみ）	内 閣
	〔 〕	
	〔 〕の指名	
	〔 〕に対して、〔 〕して〔 〕を負う	

(3) 国の機関

⇒ 国は、幅広く仕事をしている。そのため、仕事の内容ごとに〔 〕や〔 〕、〔 〕を作り、分担して仕事をしている。

・・・現在は「 〃 〃 」を中心に行なっている。  
(右ページの表も、見てください。)

↓

各行政機関で働いている人たち（職員など）を〔 〕という。

・・・国の機関で働く人 = 〔 〕

都道府県や市町村の機関で働く人 = 〔 〕

⇒ 公務員は「 〃 〃 」でなければならない。

予習プリント

<6-2：内閣の仕事としくみ>

(1) 内閣の仕事

① 〔 〕や〔 〕を作成し、〔 〕へ提出。

② 〔 〕を〔 〕する。（・・・承認をするのは「 〃 〃 」）

③ 〔 〕の〔 〕と、それ以外の裁判官の〔 〕

④ 天皇の〔 〕に対して、「 〃 〃 」を与える。 など

(2) 内閣のしくみ

・内閣総理大臣は、〔 〕の中から指名される。

・・・〔 〕にて、指名される。

・国務大臣の〔 〕は、〔 〕から任命。

・〔 〕にて、方針を決定。・・・〔 〕を原則とし、〔 〕。

【日本の1府12省庁】

	省 庁 名	役割、仕事内容
1		総理大臣を主任の大臣として各省庁よりも上位に位置し、内閣官房を助け、内閣の重要施策に関して審議と行政各部の総合調整を行う。
2		予算原案の作成。税金の徴収。
3		外国との交渉。国際会議の調整。
4		学校の整備。科学技術の開発。
5		道路や空港の整備。河川などの防災対策。
6		自然環境の保護。野生動物の保護。
7		貿易の振興。産業の活性化。
8		労働者の環境整備。食品の安全管理。
9		行政組織や選挙のしくみの整備。
10		農業、水産業の育成。
11		自衛隊の統括。
12		検察、刑の執行など。
13		警察の取りまとめ。国民の安全確保。

## 4. 登校再開後の授業②（2学期） ——復習動画を用いた授業

先述したとおり、1学期の予習動画は、こちらの意図していた授業前の予習として見ている生徒が少なかった。一方で、復習やテスト対策として見ている生徒が予想外に多かったことなどから、授業動画を使用するタイミングを変えてみることにした。

具体的には、2学期では生徒が今まで習ったことがない「経済」の内容を扱うこともあったので、特に生徒の理解が難しいと思われる理論的な部分（需給曲線に関する部分、景気対策の部分、フロー・ストックやGNPなどの部分）について、全クラス共通の練習問題を作成・配付し、その解説動画を配信することで復習やテスト対策としての機能を中心に配信することにした。

結果、1本あたり5～10分の動画を6本アップロードしたが、動画の再生回数（延べ数）は、いずれも60～90回程度であった。もう少し動画を利用する生徒がいると思っていたが、動画の再生回数は伸び悩んだというのが正直な感想である。要因としては、Google ClassroomでURLを配信する際に、PDFファイルで練習問題の模範解答も配信したことで、動画を見なくても解答がわかれば良いという生徒が多いということが考えられる。

## 5. 今後に向けて

成城学園中学校高等学校にて筆者が行なったコロナ禍以前の試行的な実践とコロナ禍における実践を紹介した。ICTをうまく活用することで、生徒の学ぶ場が広がり、知的好奇心が高まることが実証的に理解できたように思う。ただ、35人や40人程度を単位とした授業内でICTを活用するまでに筆者は至っていない。クラス全員を対象とした授業の中において、ICTをより積極的に活用していくことが今後の大きな課題である。

単にICTを利用していけばよいのかというところではない。一定以上の授業管理やICTを活用するにあたっての生徒へのモラル的な指導も必要になる。これらの点をクリアして活用することに意義があると考えられる。これからも、試行的な授業実践を繰り返し行う中で授業内においてICTを有効的に活用する方法を探るとともに、生徒自身がより主体的に、積極的に授業に取り組めるように日々邁進していく所存である。

---

### 注

1 文部科学省編『平成30年度 文部科学白書』（2019年）387頁